

サンゴメンテナンスの活動報告

TOPIC.1 新規移植場所を探せ！Part2



今回見つけた移植場所の候補地2か所

[2018年12月更新のサンゴメンテナンス活動報告](#)につづきまして、2020年11月のサンゴメンテナンスでも、サンゴの新しい移植場所を探しました。今回、移植場所の候補として見つかった場所は2か所で、次回のサンゴメンテナンスでは、このどちらかに中間育成棚で養生しているサンゴを移植し、サンゴの成長を見守っていきます！



恩納村漁協が管理しているサンゴ

海中の探索中に驚いたことは、恩納村漁業協同組合（以下：漁協）の方が管理・育成しているサンゴが大きく成長していたことです。岩場は少ないものの、サンゴの生存力と漁協の方々、応援してくださる方々の努力の結果が、サンゴの成長に大きく貢献した証だと思いました！これからもサンゴプロジェクトは続いていきます！皆様、どうぞ応援よろしくお願ひします！

TOPIC.2 天候（自然）によりメンテナンスができない！？



白波がたつほど荒れた海

自然是私たち人間に都合良く動いてくれません…。いざメンテナンス！と思ったものの、天候に恵まれなければ海へ潜ることができません。2020年11月のメンテナンスでは、ちょうど沖縄県へ吹く風向きが変わるタイミングで、波がいつも以上に高くなり、出船できない問題に直面しました。天気が良くても風向きや強風の影響で波が大きくなるなど、海での作業がとても危険になることもあります。

次の日には、海も少し穏やかになったため、無事メンテナンスを行うことができました！過去のメンテナンスでは周りの家が停電になってしまうほどの大雨が降ったこともあります。赤土が流れ出た海へ潜った時は、周りが見えなくなり怖かったことを今でも思い出します。サンゴメンテナンスはその日の天気、風といった環境に左右されるものと改めて自然に学ばせてもらいました。自分たちが帰るまで作業は終わりではありませんので、これからもサンゴのことを想いながら、そして身の安全を確保して作業をしていきます！



赤土で濁った海



濁りのない穏やかな海

sunshine
サンシャイン水族館

aquarium

サンゴ返還プロジェクト 活動報告

サンゴの死滅

残念なことに移植したサンゴの死滅が確認されました。死滅したサンゴは、サンシャイン水族館が移植を実施した場所の中で、水深が最も深い場所のサンゴでした。2019年の11月に移植したサンゴは



2019年11月 移植直後のサンゴ



2020年6月 成長していたが死滅したサンゴ



2020年6月の時点で死滅が確認され、今回死滅したサンゴは深い場所に初めて移植を行った種類のサンゴでした。今後も、「深い場所を好むサンゴ」、「その逆で浅い場所を好むサンゴ」、「深くても浅くとも適応できるサンゴ」といった種類による適正環境の違いを少しづつ理解していく、さらに移植場所の水深や環境調査を続け、その場所に適したサンゴの移植を実施していきたいです。

サンゴの生命力



死滅はしていないものの、部分的な死滅が確認されたサンゴもいました。今まで、順調に成長をしていたサンゴが急に調子を崩してしまったため、とても残念でした。サンゴは一部が死滅しても、生きている部分が分裂することで成長できます。

負けるな！サンゴ！飼育スタッフは見守る事しかできませんが、サンゴの強い生命力を信じて大きくなるのを観察していきたいと思います！

サンゴの成長



2年で約25cmの成長！

もちろん成長しているサンゴもあります！移植して最大で約8年の月日が経過するサンゴもいれば、まだまだ移植して間もないサンゴもいます。私たちが東京で過ごしているそんな今でも、サンゴは大きくなろうと成長しています。これからも元気に大きく成長してほしいです！

スタッフ一言メモ（飼育スタッフ：N.H）

はじめまして、今年度入社した飼育スタッフのN.Hです！

なにもかもが新しいことで、ドタバタしておりますが、サンゴは特にわからないことだらけ…。そんな中、恩納村でのサンゴメンテナンスの日が来てしまいました…！海に潜って見る自然光に照られたサンゴは、水槽の中で見るサンゴとは一味違いました。初めてのことばかりでしたが、自分でメンテナンスをすることでサンゴに愛着が湧いてきましたし、種類も入社した時よりわかるようになりました。同じように

見えるサンゴでも、黄・オレンジ・青・紫と様々な色合があり、ポリープの形も違います。周囲の環境やサンゴの状態によってもポリープの開き具合が変化するので、観察しがいがあります。私はプライベートでもよくダイビングに行くのですが、今回調査で潜った場所は、たまたま過去に潜ったことのある場所でした。以前とは比べものにならない程、大きく、そしてきれいに成長したサンゴを見て感動しました！サンシャイン水族館の管理するサンゴたちも立派に成長してくれるよう、私たち飼育スタッフができる限りのことをしていきます。



サンゴ礁再生プロジェクト 活動報告

サンゴの産卵

2020年5～6月、サンゴの産卵時期。サンゴの産卵予測で“そわそわ”している時期ですが、今回は例年とは違いました。

恩納村の他のエリアで産卵がみられるなか、サンシャイン水族館が育成しているエリアはなかなかその気配がみられませんでした。そしてついに、6月24日・25日に恩納村にてサンゴの産卵がみられました。サンシャイン水族館のスタッフも沖縄へ向かい、4年連続立ち会いに成功。これまでのなかでも最大規模の大産卵でした！！「サンゴが私たちのこと待ってくれていたのではないか！」と、自然の奇跡に思わず“うっとり❤”てしまいました。



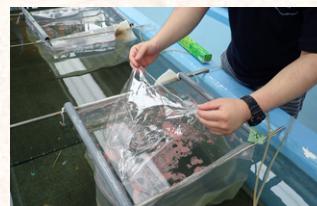
夕日が沈むなか、船上で出番を待ちます。



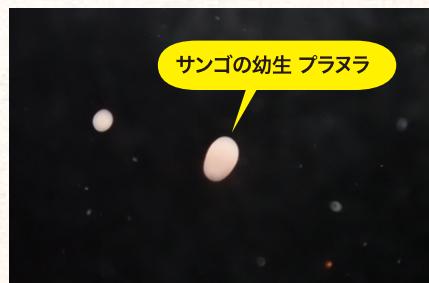
サンゴが産卵！卵を食べに魚も集まりました。

サンゴの卵の管理に、新アイテムを導入！

受精したサンゴの卵は、3日ほどでプラヌラ幼生に成長し、泳ぐことができるようになります。しかしそれまでは自由に動くことができず卵の浮力で、水面に密集します。サンゴの卵からの油分により水質が悪化し、場合によっては正常な受精卵にも影響をおよぼすため、水の交換など卵の管理が必要です。そこで新アイテム「ラップ」の登場です！



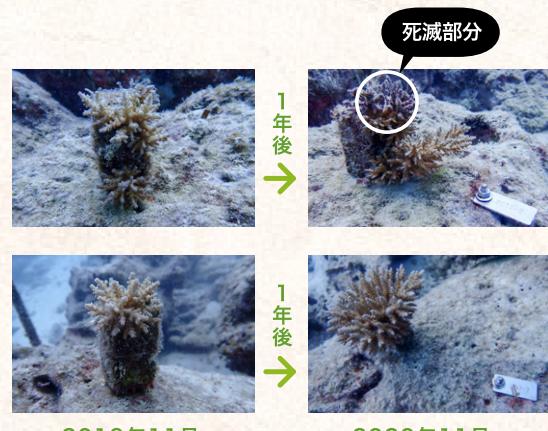
表面の油分をラップで除去することで、これまでよりも良い状態で受精卵を管理することができました。



新アイテムを使いつつ、サンゴのプランクtonまで育成後、一部はサンシャイン水族館へ、一部は恩納村海域へ放流しました。水族館では現在も、サンゴの赤ちゃんを育成中です。自然に放流したサンゴの赤ちゃんたちも無事に育っていると期待して、次回のサンゴの産卵に向けて、準備を進めています！

移植した稚サンゴたちのその後

1年で倍以上の成長がみられるようになりました！一部のサンゴでは部分的に死滅もみられましたが、自然の脅威に負けず、これからのさらなる成長を願うばかりです。このサンゴたちは現在3才（産卵後3年目）となりました。移植したころは1cm未満のかわいい稚サンゴたちでしたが、基盤のプレートを覆いつくすほど立派に成長しました。自然界では3年目以降で成熟がみられることが知られています。次回の産卵時期に、期待したいですね！



2019年11月

2020年11月

